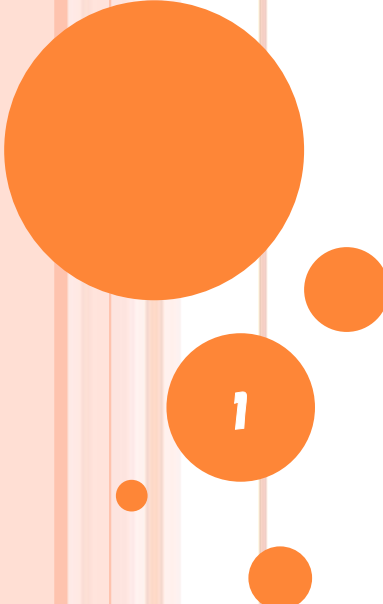




江別いきいき未来スタディ

江別市長 後 藤 好 人

2024年12月12日 認知症多職種連携検討会資料

えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）（R6～R15）

自治基本条例に基づき、総合的・計画的なまちづくりを行うための市の最上位計画です。

まちづくりの基本理念として、「いつまでも元気なまち」「みんなで支え合うまち」「子どもの笑顔があふれるまち」「自然とともに生きるまち」「新しい時代に挑戦するまち」の5つの柱を掲げています。

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体やさまざまな世代が互いに尊重しながら協力して地域課題に取り組むことで、将来都市像『幸せが未来へつづくまち えべつ』の実現を目指します。

まちづくりの基本理念

- ☒ いつまでも元気なまち
- ☒ みんなで支え合う安心なまち
- ☒ 子どもの笑顔があふれるまち
- ☒ 自然とともに生きるまち
- ☒ 新しい時代に挑戦するまち

江別市地域福祉計画（R7～R15）

江別市高齢者 総合計画 （R6～R8）

[根拠法]
老人福祉法
（第20条の8）
介護保険法
（第117条）

障がい者支援・ えべつ21プラン （障がい者福祉計画 （R3～R8）、障がい 福祉計画・障がい児 福祉計画（R6～R8））

[根拠法]
障害者基本法
（第11条）
障害者の日常生活・社会生活を総合的に支援するための法律（第88条）
児童福祉法
（第33条の20）

江別市子ども・ 子育て支援事業 計画 （R7～R11）

[根拠法]
子ども・子育て支
援法（第61条）

えべつ市民健康 づくりプラン21 （R6～R17）

[根拠法]
健康増進法
（第8条）

江別市の認知症施策

えべつ未来づくりビジョン(第7次江別市総合計画)

【計画期間:令和6年度～令和15年度】

江別市高齢者総合計画

【計画期間:令和6年度～令和8年度】

認知症施策の推進

(1) 認知症の人の社会参加を支え合う地域づくり

- ① 認知症の人の家族への支援
- ② 認知症の人やその家族を見守り合い、支え合う地域づくりの推進

(2) 認知症の予防と備えの実践

- ① 早期対応と支援体制の構築
- ② 認知症に対する「備え」の実践
- ③ 成年後見制度の利用に関する相談の実施
- ④ 成年後見制度利用に関する各種支援制度の実施

認知症に関する主な取組

- 認知症あんしんガイド(江別市版認知症ケアパス)の発行

【相談】

- 認知症地域支援推進員
- 認知症家族やすらぎ支援
- 認知症カフェ

【予防】

- 介護予防教室
- 介護予防出前講話

【見守り】

- 緊急通報サービス
- 認知症高齢者家族支援サービス(GPS端末貸与)



などなど

江別いきいき未来スタディとは

- 高齢者にとって健康であり続けるための大きな不安要素である「認知症」に着目し、食を中心とする認知症予防策を探索する産学官連携による研究
- 「軽度認知障害(MCI)の血液バイオマーカーの探索」
「食を中心とした認知症重症化予防策の検討」
「地域社会の街づくりと健康寿命の関係性の調査」
を目的として、最大1,200人の江別市民に対して10年間にわたり血液バイオマーカーの測定を含む認知機能検査や体力測定のほか、食・生活習慣に関するアンケート調査を行うものであり、『健康都市 えべつ』の一環としての取組

背景および経過

- 平成21年 「食の臨床試験」開始
【北海道情報大学】
- 平成29年4月1日 「健康都市宣言」【江別市】
- 令和4年6月30日 「包括連携・協力に関する協定」
 - ・学校法人 電子開発学園 北海道情報大学
 - ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
 - ・株式会社 島津製作所
 - ・一般社団法人 セルフケアフード協議会
 - ・江別市
- 令和5年4月1日 「共同研究契約」【上記5者】

超高齢社会における課題解決に資する
食と認知機能の関係を明らかにする健康モデルの研究開発

本スタディにおける江別市の役割

被験者(市民)への行政支援

初回参加者1,200人の確保



10年後まで1,000人の継続検査が目標

初年度参加者を1,200人と設定

★★ 参加条件 ★★

「江別市民」かつ「55歳以上75歳以下」

江別市の状況(令和5年年4月1日現在)

- 人口 118,782人
- 65歳以上人口 38,024人
(高齢化率32.0%)
- 55歳以上75歳以下人口 27,232人

1,200人／27,232人 $\div$ 4.4%

22～23人のうち1人参加・・・集められるのか？

MISSIONスタート

令和5年9月12日 プレス発表



北海道情報大学と連携した募集活動を開始



Mission

募集締切(11/13)までに
参加者1,200人を確保せよ！

主な募集活動

- 北海道新聞への取材依頼（結果：江別版に掲載）
- 江別市ホームページ
- 広報えべつ
- 自治会回覧
- 公共施設に募集チラシ・申込書配架
- イベント等で募集チラシ・申込書配布
- 市民向け各種通知に募集チラシ・申込書を同封
- 窓口のコミュニティービジョンで募集動画放映
などなど
- それでも足りないようであれば、対象年齢の市民に
ダイレクトメールを送ることも検討

募集結果

定員に達したことから前倒して10月27日で募集終了

(当初締切は11月13日)

【令和5年 参加者】 1,189人

男性 462人(38.9%)・女性 727人(61.1%)

55～59歳 280人(23.5%)

60～64歳 307人(25.8%)

65～69歳 347人(29.2%)

70～75歳 255人(21.4%)

※年齢は令和5年4月1日現在

**令和6年 参加者
1,155人(97.1%)**

医療分野における認知症の取組

- 江別市立病院 認知症疾患医療センター

(令和4年4月開設)

- 江別・南空知先端医療推進協議会

(令和5年2月設置)

江別市（江別市立病院）

南幌町（町立南幌病院）

当別町

新篠津村

- 認知症医療の充実に向けた包括連携協定

(令和6年11月締結)

札幌医科大学附属病院

江別市立病院

江別・南空知先端医療推進協議会